

2022年2月24日
自然電力株式会社

自然電力と Constant Energy、
パナソニックグループ タイ現地法人と 1,169 kWp の
コーポレート PPA 契約を締結



自然電力株式会社（以下「自然電力」）と Constant Energy は、2022年2月7日、パナソニック エナジー タイ（株）（以下、「PECTH 社」）と 1,169 kWp（DC）容量の屋根置き太陽光発電を利用した長期電力供給契約（Corporate PPA）を締結しました。

本契約により、タイにおけるバッテリーのトップメーカーである PECTH 社は、サムットプラカーン県に位置する工場にてクリーンで競争力のある再生可能エネルギーを使用することで電力コスト削減を実現しつつ、20年間の契約期間中に約 13,745 トンの CO2 を削減する見込みです。

本プロジェクトは、自然電力および Constant Energy がタイのローカル銀行である TMB Thanachart Bank PLC と締結したタイの C&I (Commercial & Industrial) 事業として最大規模の 15 億バーツ (約 50 百万米ドル) のプロジェクトファイナンス契約に基づいて資金調達されます。

PECTH 社 MD である谷本卓也社長は、「本日、Constant Energy・自然電力と契約締結できたこと非常に嬉しく思います。今回の Renewable Energy の活用は弊社の環境取り組みを加速させる大きな一歩になります。引き続き創エネと省エネに取り組み、将来は CO2 ゼロ工場を目指し取り組んで参ります。」

Constant Energy の創業者兼 CEO である Franck Constant は、「バッテリーメーカーのトップメーカーであり、とても歴史のあるパナソニック株式会社と長期的なパートナーとなれたことを光栄に思います。太陽光発電設備を通して CO2 削減と電力節減に寄与できること楽しみにしております。」

自然電力のタイのカントリーマネージャーである牛窪伶は、「PECTH 社の発電事業者となれたことを嬉しく思います。Constant Energy と共に PECTH 社の環境目標である脱炭素社会、再エネへの転換達成に寄与したいと考えています。」

【パナソニック エナジー タイ (株) Panasonic Energy (Thailand) Co. Ltd.について】

パナソニック エナジー タイ (株) は 1961 年に創業開始。以来 60 年以上、タイにて乾電池の製造・販売を行う。

タイにおける Panasonic 乾電池販売シェアは№1、APAC 諸国、日本等グローバルに輸出販売を行っている。現在、CO2 ゼロ工場を実現すべく取組を実施し、サステイナブルな社会実現を目指している。

URL : <https://www.panasonic.com/th> (タイ語)

【Constant Energy について】

Constant Energy は、複数の国において高品質の発電設備への投資と運営を行う、再生可能エネルギー発電所と蓄電池への投資プラットフォームです。太陽光発電所の開発・設計・資金調達・建設・所有・運営を行う独立系発電事業者(IPP)として、メガソーラーおよび大規模な工業用屋上設置型太陽光発電所の開発・設計・建設・運営を行っています。専

報道関係各位



門性と経験豊富なチームが、長期的な見通しを見据えて各国の発電所を直接管理しています。

URL : <http://www.constantenergy.net>

【自然電力株式会社について】

2011年6月設立。「青い地球を未来につなぐ」を掲げ、日本全国でグループとして約1ギガワット（2019年12月末時点）の自然エネルギー発電事業に携わっている。太陽光・風力・小水力等の自然エネルギー発電所の設置・運営に必要な、開発・EPC（設計・調達・建設）・O&M（運営・保守）・アセットマネジメント・電力小売事業等、すべてのサービスを手掛けている。2016年より海外事業にも注力しており、東南アジア・ブラジルを中心に開発事業・発電事業を展開している。

URL : <https://www.shizenenergy.net>

<本件に関するお問い合わせ先>

自然電力株式会社（担当：杉山）

e-mail: se-comm@shizenenergy.net